

図書館報

第 59 号

発行 社高等学校
編集 図書委員会

読書のたのしみ

校長 中井 修

教室で地理の授業をして
いた頃、詩人で児童文学作家
でもある長田弘さんの『世界
は一冊の本』という詩を度々
紹介したことがある。書き出
しは「本を読もう／もつと本
を読もう／もつと本を
読もう」から始まり、「世界と
いうのは開かれた本で／その
本は見えない言葉で書かれて
いる」と続く。人間を取り巻
くもの全ては、何らかの思索
の種を与えてくれる「本」で
あり、それを受け取って我々
は自ら考え、生きていくのだ、
と長田さんは伝えてくれてい
る。ここでは全文を紹介でき
ないが、機会があれば是非読
んでほしい詩の一つだ。

ひとり人間が自己の感覚を
通して直接認知できる世界は
ごく狭く、限定されている。
あくまでも「誰々によるとこ
ろの世界」だ。しかし、読書
をすれば本を通して「作者に
よるところの世界」を（他の
媒体と比較して）かなり深く
濃密に知ることができ、疑似
体験・追体験に近いことをし
たことになる。新たな本に出
会ったときに、未知の世界を知
り、刺激を受ける喜びを味わ
うことができる。時間を超え、
場所を越えて普段は自分の手
の届かない世界に身を置く喜
びだ。映画や演劇、音楽など
も同じような役割を果たして
くれるが、読書という行為は
読み手の想像力に大きな負担
を強いる分、より主体的（非
受動的）な体験となり、心の
深いところまで届くような
気がしている。そして、さら
に本をたくさん読めば読むほ
ど様々な他者の体験を得て、

知識や思索の種はどんどん蓄
積されていく。
立ち止まって考えてみたら
結果、私はこのように感じな
がら本を読んでいるようなの
で、すぐに人生の指針となる
ような立派な本を高校生の皆
さんに紹介する自信はない。
読書法としてなら、少しは参
考になるかもしれないので、
我流の癖や習慣を3つほど紹
介する。一つは作品に興味を
持てば、同じ著者・作家の別
の作品も読んでみることにし
ている。いくつか読みたためコ
レクションができた頃に俯瞰
してみると、作者の心情の変
化や成長の道筋に気づくこと
ができ面白く興味深い。時代
背景の影響を感じることもで
きる。二つには関連する芸術
作品にも興味を持つようにし
ている。読んだ本が映画化さ
れているのならその映画に、
作品に登場したり影響を与え
たりした音楽や美術作品があ
ればそれらにも出会ってみる
と立体的な作品理解に繋がる。
三つにはジャンルによる食わ
ず嫌いはしないこと。私は日
本文学、海外文学、エッセイ、
歴史小説、SF、ノンフィク

ション、科学解説もの等々、
どんなジャンルにも興味があ
り、遠ざけているものはない。
いずれにも筆者の思いや企み
が込められており、それに向
き合うことに違いはないから
だ。

とはいえ、最後にいくつか
「時間を超え、場所を越えて
普段は自分の手の届かない世
界」を味わえる小説（主に読
みやすい短編集を紹介して、
文章を締めくくりたいと思う
役に立つかどうかはわかりま
せんが。良ければ手に取って
みてください。

■『大聖堂』

レイモンド・カーヴァー著
訳・村上春樹「大聖堂」（中央
公論新社）
1970〜80年頃のア
メリカの普通の市民生活（ど
ちらかというと働けども貧し
い人々）を描く。村上春樹の
訳で有名になった。

■『あなたの人生の物語』

テッド・チャン著、訳・浅
倉久志他（ハヤカワ書房）
映画『メッセージ』の原作
を含むSF短編集。作者はネ
ビュラ賞・ヒューゴー賞を受
賞した作家だが、寡作の人と
しても有名。

■『カヴァレリア・ルステ イカーナ他11篇』

G.ヴェルガ著、訳・河島英
昭（岩波文庫）
19世紀後半のシチリアを
舞台とした民衆の物語。神話か
小説かわからないところが魅
力。

教員からのメッセージ

今こそ、読書の世界へ
国語科 丸山 華奈

最近の読書に関する話題
といえば、「読書離れ」「書籍
の売り上げの低下」など、あ

まりいい話題は聞きません。
本を読まない人に理由を聞く
と、「インターネットで調べる
ほうが早い」「動画やゲームの
ほうが気楽に見ることができ
る」という意見が多いでしょ
うか。

確かにインターネットは
調べたらすぐに情報が出てき
ますが、最近では広告や有名人
によるPRが検索の上位に出
てくることも多く、正しい情
報が何かわかりにくく、詐欺
被害も増えています。

また、SNSや動画サイト
には必ずコメント欄があり、
中には人を傷つけることを目
的とした心無い言葉も数多く
存在します。短文でやり取り
をするメッセージアプリでは

お互いの思いが読み取りにく
く、トラブルの件数も年々増
えています。このように、便
利でありながらも使い方に注
意しなければ自分や相手を傷
つけてしまうのが今のインタ
ーネットではないかと、私は
感じています。

そして小さいころからそ
の中で育ってきた貴方たちだ
からこそ、私は読書をすすめ
たいのです。

本を読めば、己が傷つくこ
となく他人の感情に触れ、自
分の知らない世界、自分の知
らない自分を知ることができ
ます。SNSでは匿名ゆえ気
軽に気持ちを発信でき、自分
と同じ気持ち、境遇の人を簡
単に見つけることができます。
しかしそのほとんどが相手の
気持ちを考えず衝動的に書き
込まれたもの。結果人を傷つ
けたり、傷つけられたりする
トラブルが後を絶ちません。

その点、書籍は衝動性があ
りません。何回も、何人もの
目で確認され、書き直されて

初めて書籍は出版することが
できます。私は今まで本を読
んできて共感し、救われたこ
とは何度もありますが、心無
い言葉に傷つけられたことは
一度もありません。スマホの
中の小さな世界に疲れてしま
った、でもなぜかやめられな
い人は、思い切つて一度離れ
て読書にふけてみてもいい
のではないのでしょうか。

とはいえ何を読めばいい
かわからない人も多いはず。
ささやかながら、私のおすす
めをいくつか紹介します。あ
なたの悩み、苦しみは今まで
生きてきた何百億人もの人間
の中の誰かがどこかで感じ、
乗り越えてきたもの。そして
書籍にはその歴史が詰まっ
ています。自分の周りの小さな
世界にとらわれず、自分の人
生だけでは到底味わえない感
情や経験を追ってみてくださ
い。そしていつか自分の救い
となる本、指針となる本に出
合えることを祈っています。

■『砂漠』

伊坂幸太郎著

「人生のモラトリアム（猶予
期間）」とも言われる大学生。
そんな四人の大学生たちの学
生生活を描いた作品。

「その気になればね、砂漠に
雪を降らすことだって、余裕
でできるんですよ」本当にそ
う思わせてくれるような、目
の前の世界が少し明るくなっ
たように感じさせてくれるよ
うな。そんな日常に潜む小さ
な希望を集めた物語です。

■『光のどこにいてね』

一穂ミチ著

家庭環境も、育った場所も
出会った人も違う。それぞれ
何かひそみを抱えた二人が出
会い、別れを何度も繰り返し
中で「光を見出していく話」

苦しみなながらも互いを思うひ
たむきさに心が動かされます。



読書をしようと思っても、
値段が高い…そんな人でも図
書室に行けば無料で、いろい
ろな本を読むことができます。
また、「青空文庫」という電子
書籍サービスでは、夏目漱石、
太宰治といった名著の作品を
無料で読むことができます。
ぜひ活用してみてください。

最後に。私なりに今まで生
きてきて、人間関係、勉強、
仕事等、何においてもまず「知
る」ことが何よりも重要だと
思っています。様々なことを
これから知り、魅力ある人間
に成長してください。そのた
めの手段として「読書」があ
ることを、心のどこかに置い
てもらえれば幸いです。

『嫌われる勇氣』
『幸せになる勇氣』
保健体育科

久保 健太

皆さんは読書が好きですか。私は大学生になるまで読書が嫌いでした。本を読むことがめんどくさいと思っていました。それよりも部活の練習をしたり、家でゆっくりしたり、友達と遊んだり、ゲームをしたりの方が楽しく、有意義だと思つて生きてきました。

ところがある日、本好きな友達に「本を読むことで他の人の人生を味わうことができるんだ」、「活字だからこそ、見えないからこそその想像力豊かな世界が広がっているんだよ」と言われ、少し本に対する考え方が変わりました。自分の力を伸ばしたり、自分だけでは解決できない悩みを解決する1つの方法だということに気づかされた日でした。

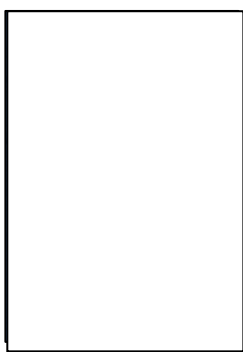
そして、1冊本を読んでみることにしました。すると自

分では思いつかなかったであろう、著者が人生をかけて得たことや伝えたいこと、その考え方に悩みを軽くしてもらったことを今でも鮮明に覚えています。

今回はそんな中で、私が人生を少し変えることができた本を紹介しようと思います。

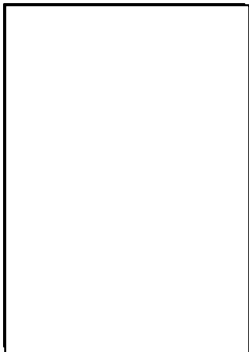
■『嫌われる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教え』

岸見一郎・古賀史健著



■『幸せになる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教えII』

岸見一郎・古賀史健著



人生における悩みを抱え

た青年がアドラー心理学の研究者である哲人に対して疑問をぶつけ、哲人の考えに反抗し、葛藤しながらも勇氣をもつて自らの考え方を変化させ、悩みに向き合つていく対話形式の本です。

原因論ではなく目的論

と捉えるのです。自分自身の目的を達成することだけに尽力します。自分の人生をコントロールできるのは自分だけなのでから。

私と他者の課題の分離

こんなことわざがあるそうです。「馬を水辺に連れていくことはできるが、水を飲ませることはできない。」この場合、水辺に馬を連れて行った時点で飼い主の課題は果たされています。あとは馬が水を飲むという課題を果たすかを見守るしかありません。水を飲むかどうかは飼い主ではなく馬の課題だからです。

皆さんは今の自分があるのには原因があるという「原因論」を強く否定します。例えば、「いじめをうけたから、部屋に引きこもる」というのが「原因論」です。それに対して「誰かに心配してほしいから、引きこもる」と考えるのが「目的論」です。原因を気にするのはなく、目的に気持ちを向ける考え方にしているのが、アドラー心理学の目指すところなのです。すなわち、「目的論」という考え方は、今までの過去の出来事は何一つ将来の自分には関係がない

人生の意味とは何か

「人生の意味は、あなたが自分自身に与えるものだ」とあります。わたしたちは、た

った今から変わることができません。過去も未来も関係なく、今をどう生きるか。どんな意味を持つて生きるかは、自分で決めることができます。この本はそんな勇氣を振り絞り、前へ進むヒントを与えてくれる本です。

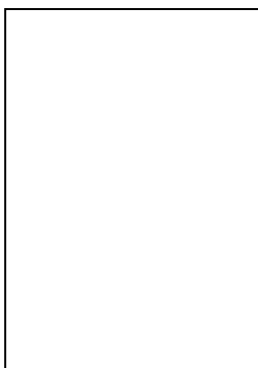
図書委員による
おすすめの本紹介

二年二組

原科歩季・村田篤哉

『ストレッチングーあらゆる
スポーツを克服するために』

平野 厚



私は体育科に所属していま
す。体育科は「部活動」があ
り、怪我などをしてしまうの
は致命傷です。なので怪我を
防ぐ「ストレッチ」について
学び、今後に生かせるように
この本を手に取りました。

まずはこの本の著者である
平野さんについて調べました。
1910年、東京生まれです。
1962年に東京学芸大学を
卒業。高校と大学は陸上競技
部に所属し、長距離を専門と
していました。1965年か

らは日本陸連普及部部員・長
距離を担当していました。こ
のことから陸上という接点か
ら親近感がわきました。

次は本の内容を紹介します。
この本は主にストレッチのこ
としか書いていません。です
が、運動をしている身からし
たらまるで宝箱のようだった。
ハムストリングスを伸ばす簡
単なストレッチについてだが
私はこういう基礎が大切だと
気がきました。

私は去年までストレッチを
全くしませんでした。そして、
去年の5月に肉離れをしてし
まい、陸上のできない日々
絶望を感じていました。その
際走り方が悪くて怪我をして
しまったと感じていましたが
今思うと柔軟不足・日々の甘
さが出てしまったのだと感じ
ました。

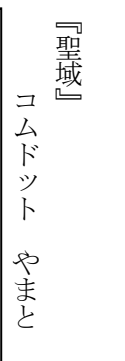
スポーツ選手にとっては怪
我が一番の敵です。皆さんは
「めんどくさいな」やる意味
あるの」ととらえる人もいる
と思います。ですが、私は熱
く語る。スポーツをやってい
ない人もお風呂上りに5分

この本は多くの人が知っ
ている人気 YouTuber、コム
ドットやまとさんの成功体験
を裏付ける内容が書かれてい
るものです。
皆さんは「コムドットやま
と」のイメージはどんなもの
ですか？この本を読む前の

も行うだけで1日の疲労が取
れ睡眠の質が上がります。
最後に私の熱い文章を見て
少しでも興味が出たなら目を
通すだけでいいから覗いてほ
しい。みんなからするとクツ
ソつまんないただの紙切れだ
つたかもしれない。実際は知
識の山。是非読んでみてくだ
さい。

二年三組
酒井紅音・井上歩咲

『聖域』
コムドット やまと



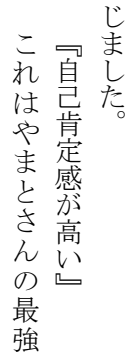
この本では新しい世界と
新鮮な考え方や、持つことが
難しい「自己肯定感」を持つ
ことでのいい点を学ぶことが
できました。自分にはない考
え方がたくさんあり、とても

は、よく炎上をしている、怖
そうというイメージを持って
いる人が多いと思います。で
すが、それがやまと、そ
してコムドットの作戦なのだ
ということを読み始めて数分
で思い知らされると思います。
やまとさんは自己肯定感
がほかの人に比べて高く、考
え方は良い意味でおかしいで
す。そして、頭を効率よく使
って考えて即行動して、のし
上がってきた天才なのだと感
じました。

面白く勉強になることがたく
さんあります。皆さんもぜひ
読んでみてください。

二年四組
梶野綾香・林 真未

『兵庫あるある』
新田 哲嗣



『兵庫あるある』は新田哲
嗣さんが手がけた兵庫のある
あるがたくさん書かれていま
す。この方は他にも観光、グ
ルメ、人間分析、心理分析な
どのコンテンツを多数手掛け
ています。
兵庫県民なら絶対共感で
きるあるある、気になりませ
んか？
同じ兵庫県民として、皆が
共感するあるあるや新しく発
見したあるある、中には初め
て知る不思議なあるあるなど
が約250個あります。タイトル

これはやまとさんの最強
の武器、そして現代の人にと
つてとても必要な考え方の
だと感じました。すべての人
が自己肯定感を高く持つて生
きるの日本人にとって難し
いけれど、自己肯定感を高く
持つていて悪いことはないな
と思えました。

面白い、どんなことが書か
れているのだろうと思いませ
んか？今回はその中でも2つ
紹介します。

1 個目、「はばタンの人気
は全国区だと思っていた」

兵庫県民は、はばタンは既
にふなっしーなどと同様、全
国区になっていると思いいん
でいる人が少なくないこと
です。これは、兵庫県民の多
くの人々がそう思い込んで
いると思えます。他にもはば
タンの歌を歌える人が多い
というこ

とも書かれています。
2 個目、「小5の自然学校、
中2のトライやる・ウィーク」
皆さんも一度は自然学校に行
ったことがあると思えます。
この自然学校は兵庫県独自の
ものであり、他県でも林間学
校などがあります。長くても
2泊3日という所が多いです。
兵庫県では小学5年生を対象
に、原則4泊5日以上の自然
学校に行っています。ちなみ
に2008年までは5泊6日が基
本だったそうです。

また、公立中学校では中2
の時に1週間の職業体験(ト

ライやる・ウィーク)がありま
す。

このように兵庫県にもた
くさんのあるあるがあり、比
較的にどれも面白いものばか
りで、友人や家族と一緒に楽
しめる本だと思えます。

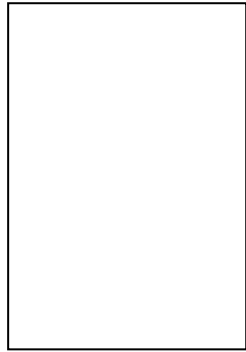
少しでも気になった方は
ぜひ手に取って読んでみて
ください。

二年五組

古家夢華・西島緩奈

『112日間のママ』

清水 健



妊娠の報告からの乳がん
の発見。主人公の奈緒さんと
清水さんは幸せの絶頂から一
瞬にして命と選択を迫られた。
皆さんは当たり前のことが
失われていく悲しさ、生きて
いることの幸せを感じたこ
とはありますか？私がお薦め

したい本は「112日間のマ
マ」という本です。この本は、
日本のフリーアナウンサーで
ある清水健さんと健さんの妻
奈緒さん、その子供の三人の
家族の闘いが書かれている本
で生き方や考え方について深
く考えさせられる一冊です。

幸せな生活が変わったのは
妊娠中になんが見つかってこ
とでした。おなかの中の赤
ちゃんへの影響を考えると治療
方法も絞られてしまう。その
中で出産を「諦めるのか、諦
めないのか」一瞬にして命の
選択を突き詰められたのでし
た。奈緒さんは言葉にはしな
かったものの「産みたい」と
清水さんに語り掛け、三人で
生きる道を決めたのでした。

私が一番心に残っている
場面は、辛い副作用に苦しめ
られながらも治療を続ける奈
緒さんを思っている三人での家族
旅行を計画したことでした。
その旅行は奈緒さんにとって
治療の励みになったと思うし、
三人にとって生きる希望が見
えたのだと思えます。

私はこの本を通して、自分

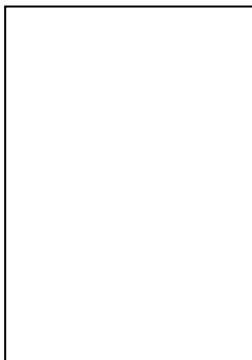
がつらい時、自分の気持ちに
寄り添ってくれる人がいるあ
りがたみを感じることができ
ました。少し分厚い本ですが
読めば読むほどその先が気
になり、たくさんのことを学ぶ
ことができる本です。ぜひ読
んでみてください。

二年六組

藤井紗弥・三和田真和世

『容疑者 X の献身』

東野 圭吾



『容疑者 X の献身』は東野
圭吾さんの有名な作品で、映
画化もされました。“ガリレ
オシリーズ”と呼ばれる、物
理学者の湯川学が主人公の作
品の第三作目です。この物語
のストーリーを紹介します。
天才数学者でありながら
不遇な日々を送っていた高校
教師の石神は、一人娘と暮ら

す隣人の晴子に秘かに思いを
寄せていました。晴子はお弁
当屋で働いており、石神は晴
子に会うためにお弁当を買い
に行っていました。そんな彼
らの穏やかな日々は突然崩さ
れます。晴子の元夫の富樫が
お金をたかりにやってきたの
です。

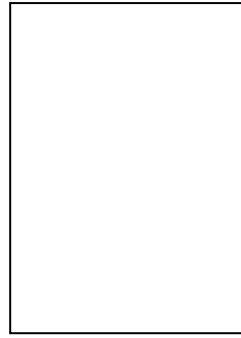
富樫の暴力によって離婚
した晴子はこれからの未来に
絶望しますが、富樫が帰る間
際、娘の美里が富樫の頭を花
瓶で殴ります。しかし、それ
でも富樫は生きており、美里
を殴ろうとします。娘が殺さ
れると思った晴美は富樫の首
をコードで絞めて殺してしま
います。そのとき、物音を聞
きつけた石神が晴子の家を訪
ねてきます。晴子はこのこと
をごまかそうとしますが、石
神は晴子たちが富樫を殺して
しまったことを見抜いており、
彼女たちを救うために完全犯
罪を企てます。しかし、皮肉
にも石神のかつての親友であ
る物理学者の湯川学がその謎
に挑むこととなります。
親友のいつもと違う言動

に違和感を覚える湯川教授。恋する人のために献身的行動する石神。複雑に絡み合っている謎を解いた先には、切ないクライマックスが待っています。ぜひ、読んでみてください。

二年七組

池内 陽・藤本航希

『ちはやふる 結び』
有沢ゆう希



『ちはやふる 結び』は、競技かるたを通じて成長し、夢を追求する若者たちの物語の続編です。この作品は、主人公である竹中千早と綿谷新、太一の三人の友情や情熱がさらに深まり、新たな試練に立ち向かう姿が描かれています。この作品の魅力は、前作同様に登場人物たちのリアリティと成長です。ちはやは、競

技かるたでの成功を目指し、友達とともに努力し続ける姿勢が描かれています。新と太一の情熱と競技かるたへの愛情は誰よりも強く、その情熱に読んでいる人も勇気をもらえます。千早もまた、夢に向かって着実に進んでおり、彼女のひたむきな努力に感銘を受けます。

作者の有沢ゆう希さんの書く文章はとても詩的で感動します。競技かるたの瞬間や試合の描写は、臨場感たっぷりです。読者を引き込みます。また、日本の古典文学や詩からの引用が、物語に深みを加え、キャラクターたちの内面を豊かに表現しています。

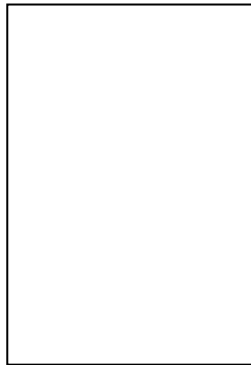
『ちはやふる 結び』では、新たなキャラクターやライバルも登場し、物語が展開していきます。前作に比べ、新たなドラマや緊張感が生まれた作品になっています。主人公が新たなキャラクターたちとともに、成長していく様子を追うことができます。

この続編は、前作からのテーマである成長と挫折に加えて、新たなテーマを探求しています。キャラクターたちは、競技かるたを通じて自分を理解していく、夢に向かって進む中で、多くの試練に直面します。彼らの成長過程は、共感できるものが多く、きつと前向きな気持ちになれると思います。

一年一組

藤原若葉・武田花蓮

『ハリー・ポッターと賢者の石』
J・K・ローリング著、
訳・松岡佑子



目の駅のシーンです。人間にはただの壁にしか見えないところに飛び込んでいき、気付くとホグワーツ特急に辿り着きます。もしかしたら通り抜けられずぶつかってしまうかもしれないという恐怖を抱えながらも、勇気を持って飛び込むシーンにとってもドキドキしました。

この話はあの有名なハリー・ポッターシリーズの第一作目です。両親を亡くしたハリーは従兄弟のダーズリー一家に下げすまれながら共に暮らしていました。十一歳の誕生日、ホグワーツ魔法魔術学校より入学許可証が届き、そこで初めて自分が魔法使いだということを知り、両親が偉大な魔法使いだったということも知ります。これまでどの暮らしが一変し、魔法学校での仲間たちと新たな生活が始まります。

私がこの話の中で好きなシーンを3つご紹介します。一つ目は9と4分の3番

二つ目はハーマイオニーの登場シーンです。ネビルのヒキガエルを探してロンはネズミに魔法をかけようとしているところに鉢合わせし、やってみせると尋ねます。うまくできなかったロンに対し、自信満々にハリーの眼鏡を直してあげるハーマイオニー。それぞれの性格がよくわかるシーンです。

三つ目は組み分け帽子のシーンです。他の子がどんな組み合わせられていく中、自分は何の組なのかドキドキしながら待ち、スリザリンを勧める帽子に対しそれだけは嫌だと願います。君は偉大になれる素質は十分に備わっていると帽子に言われますが、そ

私がこの話の中で好きなシーンを3つご紹介します。一つ目は9と4分の3番

れでもそれ以外の寮を願うシ
ーンは読んでるこちら側もど
の寮になるのかドキドキしま
した。

ハリー・ポッターはファン

タジツクな世界観で想像力が
掻き立てられるのでとてもお
すすめです。ハリー・ポッタ
ーの本は他にも沢山シリーズ
化されていてその一部を紹介
したので、気になった方はぜ
ひ読んでみてください。

映画を観た方も多いと思
います。各シーンを想像し
ながらぜひ読んでみてください。
い。

一年三組

寺村 心・田原璃音

『優しい死神は、君のために
嘘をつく』

望月 くらげ



この物語は、病気で生きる

ことを諦めていた少女真尋と、
嘘を吐きながらも優しく本当
は真尋のことを心から想って
いる死神との切ない恋の話で
ある。

真尋は私と同じ十六歳で
ありながら、小さい頃から心
臓を患っており、入院を繰
り返していた。そのことから、
『親に迷惑をかけたくない』
『邪魔したくない』という思
いから、早く死にたいと思っ
ていた。だが、死神と出会っ
たことで、真尋の気持ちに変
化が表れてくる。一方、死神
は謎が多く嘘もつくがとても
優しく、真尋に対する本当の
想いを抱えていた。読み終わ
った私が言えることだが、死
神はずっとこんな気持ちだっ
たんだ、こんなことを考えて
たんだと分かり、とても切な
く感動させられた。

そんな死神と真尋の出会い
は「君の魂をもらいにくた。
三十日以内に君は死ぬ。」から
始まっていく。こんな言葉か
ら、どうやって恋愛になって
いくかも興味が湧いてくる。
この物語は、真尋や死神だ

『パノラマ島奇譚』



『もし俺が使いきれぬほ

どの大金を手に入れることが
できたらばなあ。まず広大な
地所を買い入れて、それはど
こにすれば良いだろう。数百
数千の人を役して、日頃俺が

この物語は、

一年四組

横田芽依・都地ひより

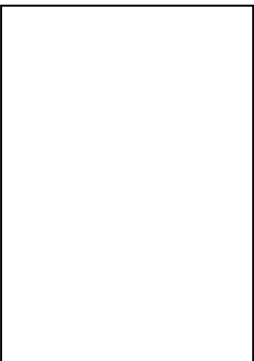
江戸川 乱歩

さなければならぬと実感を
させられるような話でもある。
幻想的な話だが、私たちの
心に突き刺さるようなもの
がある。ぜひ一度読んで見て
ほしい。

『二木先生』

一年五組

北上 丞・茅野沙季



この物語は、周囲の人間と
価値観がズレていて、いつも
「変」と言われ続けてきた自
分を異星人のように感じてい
た高校生の田井中が、生徒に

この物語は、

人気の美術教師二木の普通の人には理解されない秘密を握ったことで、生きづらさを感じていた田井中がその秘密を餌に二木にある取引を持ち掛けることから始まるお話です。

物語の自身は田井中と二木の掛け合いが多くテンポも良いし、この本は夏木先生のデビュー作なのにも関わらず話の構成も面白いので普段本を読まなかったり本があまり得意ではないなという人でもスラスラと読めてしまいそうな内容になっています。物語終盤にかけての怒涛の畳み掛けも凄まじく、物語が終わりに近づくに連れて面白さの増していく物語です。

周りと同じ普通になれるように、流行っている音楽を聴いたり、大人の言う子供になれるように振る舞う反面で、自分の周りとの違いは特別な物なんじゃないかという希望を胸に考えを周りに合わせてしまわずに、自分の考えを主張する田井中の姿も見どころです。また、主人公が高校生ということもあって未熟で少

シイタイ所のある田井中の人間性や考え方などが、徐々に成長していく姿もこの物語の見どころです。

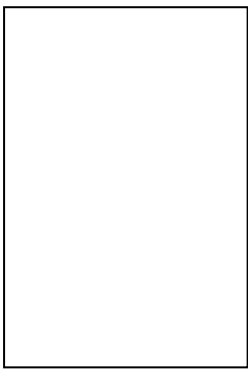
多様性が受け入れられつつある今の時代だからこそ、普通とは何なのか、みんなと同じ普通の人にならないといけないのか、そんなことについて考えさせられるこの作品をおすすめします。周りとの違いを感じてしまっている人も、そうでない人も、ぜひ読んでみてください。

一年六組

竹内知基・山城睦人

『アルジャーノンに花束を』

ダニエル・キイス著、訳・小尾英佐



私がお勧めする本は「アルジャーノンに花束を」です。これは、32歳にも関わらず、

6歳児ほどの知能しかない知的障害の主人公、チャーリー・ゴードンが知能を上げる手術を受け、様々なことを体験するお話です。

まず、この本の面白い点は、手術を受けた主人公、チャーリー本人が経過報告としてこの本を書いているという、これまで無い奇抜な設定です。この設定により、初めの拙い文章から、読みやすい文章に、そして博識な学者が書いたような文章へとチャーリーの成長の過程の解像度がグッと上がり、まるで物語に引き込まれるように、集中して読んでしまうと思います。

主人公のチャーリーは賢くなって周りの友達と同じになりたいと願っていました。

他人を疑うことを知らず、周囲に笑顔を振りまき、誰にでも親切であろうとする、大きな体に小さな子供の心を持つ優しい性格の青年でした。彼は叔父の知り合いが営むパン屋で働く傍ら、知的障害者専門の学習クラスに通っていました。そこで開発されたばかりの脳手術を受けるよう勧められ、この手術の人間に対する被験者第一号として手術を受けます。無事に手術は成功し、彼のIQは68から徐々に上昇していき数ヶ月でIQ185まで上がります。彼は大学で学生に混じって勉強すること許され、知識を得る喜び、難しい問題を考える楽しみを満たしていきます。だが、頭が良くなるにつれ、これまで友達だと信じていた仕事仲間にも騙されいじめられていたこと、知能の低さが理由で母親に捨てられたことなど、知りたくも無い事実を理解するようになっていきます。

そんなチャーリーゴードンの苦悩や悲しみが書かれた本です。

最後になりましたが、この本をお勧めしたいと思った一番の理由。それは、長い人生で経験する多くの物事を、ギョツと短い期間で経験したチャーリーに対して、私たち読み手が感じることは、きっと今と大人になってからで異なると思っただけです。

ぜひ、今しか感じることでしかない『アルジャーノンに花束を』を楽しんでください。

■編集後記

川嶋 輝美

最近、文を声に出して読む機会が増えた。朗読するスピードでゆっくり読む。読むスピードで読むと、小学校時代の国語の授業のように、読書の時間が楽しい。最近の私の読書スタイルが、短時間に多くの情報を取り取る作業になっていくことに気付く。

私は、小学校と高校時代に多くの本を読んだ。童話や戦争の体験談、推理小説やビジネス小説、科学の雑誌。本を読むことで、私の知識は深くなったと思う。高校生の時に毎週読書をして感想文を提出したことは、今ではよかったですと感じる。

読書をする中で、気分転換にもなり、新しい視点が得られることもある。今一度、目の前の本と向き合う時間をとっていききたい。